

## 旧上瀬谷通信施設地区と東名高速道路を直結する新たなインターチェンジ整備事業 環境影響評価方法書に関する検討事項一覧

この資料は本件に関して、審査会から横浜市に提出される答申の内容を検討するための資料です。これまでの調査審議の内容を確認し、下表の項目・検討事項・内容を元に答申案を作成します。  
なお、旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業は「区画整理事業」と示しています。

### ■事業計画について

項目	検討事項	内容
事業計画	トンネル部の施工方法について	環状4号線及び市道目黒25号線直下のトンネル部の施工方法については、既存道路の交通への影響が生じる可能性があることから、準備書で施工計画をより明確に示すこと。 (指摘事項 A-1-1、A-1-2、A-2-2)
	地下水対策について	東名高速道路に接続する上りオンランプでは、構造物の最深部が帯水層より深くなることから、施工空間を確保するために地下水位を下げる必要があると想定される。地盤等の予測の前提条件、事業の安全性に関わることから、その工法を準備書で示すこと。 (指摘事項 11-3-1)
	トンネルの上部利用について	農業振興地区における供用時のトンネル上部利用について、農業振興地区であることを踏まえた具体的な検討状況を準備書で示すこと。 (指摘事項 A-4-2、A-4-3)
	広域防災拠点について	本事業の目的の一つが、広域防災拠点の機能を発揮することであるため、旧上瀬谷通信施設地区内の「防災・公園地区」で整備が予定されている広域防災拠点について、最新の情報を準備書で示すこと。 (指摘事項 B-1-1)

### ■環境影響評価項目について

#### 【工事中】

評価項目	検討事項	内容
温室効果ガス		
生物・生態系		

緑地		
水循環	調査地点について	<p>大門川の周辺に調査地点が設定されているが、東名高速道路に接続する上りオンランプ下部の掘削深さが最大となるため、その周辺の地下水位への影響を把握できる調査地点を追加で設けること。</p> <p>(指摘事項 4-2-3、4-2-4、4-4-1)</p>
廃棄物・建設発生土		
大気質		
騒音		
振動		
地盤		
安全		
地域交通		
触れ合い活動の場		
文化財		

【存在・供用時】

評価項目	検討事項	内容
温室効果ガス		
生物・生態系	調査地域について	<p>調査地域について、堀谷戸川源流域や防災・公園地区における動植物の生息・生育環境への影響を把握するため、環状4号線より東側も含めること。</p> <p>(指摘事項 2-2-1、2-3-1、2-4-1、2-6-1)</p>
	調査方法について	<p>本事業における現地調査にあたっては、資料調査の一環として区画整理事業の事後調査も踏まえて、適切に行うこと。</p> <p>(指摘事項 0-1-1、2-1-9、2-1-10、2-1-11、2-1-12、2-5-1)</p>
	交通量の増加による影響について	<p>本事業の供用に伴う交通量の増大は区画整理事業の環境影響評価では考慮されていなかったことから、その交通量の増大による影響を考慮した予測、評価を行うこと。特に区画整理事業以降に整備される環境への影響を予測、評価すること。</p> <p>(指摘事項 2-1-2、2-1-4、2-1-5)</p>
緑地		
水循環		
大気質		
騒音		
振動		

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることもありますので、取扱いにご注意願います。

地 盤	予測方法について	トンネルの施工に伴い、連続した地中構造物が帯水層に位置することを踏まえ、地下水位の変動による地盤への影響を適切に予測、評価すること。 (指摘事項 11-1-1、11-1-2)
低周波音		
日 影		
地 域 交 通	調査地点及び渋滞時の予測項目について	東名高速道路本線及び町田方面から横浜町田インターチェンジに向かう車両に対する影響を予測する地点を設けるとともに、渋滞長や所要時間等の指標による予測結果を準備書で示すこと。なお、東名高速道路の休日午前等の渋滞状況を踏まえた予測とすること。 (指摘事項 18-2-2、18-2-4、18-5-2、18-5-3)
景 観		
触れ合い活動の場		